

丹波篠山市地域包括支援センターだより

Vol. 155 令和4年2月

～住み慣れた地域で暮らし続けるために～

今後、日本は2025年までに団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり高齢社会は急速に進んでいきます。

療養生活が長期になる場合、高齢者をはじめさまざまな方が“病気を抱えても自宅などの住み慣れた場所で、自分らしい暮らしを最後まで安心して続けたい”と願われます。

そのために住み慣れた地域で医療や介護をはじめ、住まい・予防・生活支援が一体的に提供される【地域包括ケアシステム】が構築されることが期待されます。その一端を担っているのが「在宅医療・介護連携」です。

安心して自宅療養できるように、医療と介護の関係者が連携する多職種協働により、包括的かつ継続的な在宅医療および介護の提供を進めています。

丹波篠山市では、地域における医療・介護支援の情報を共有し、関係機関がチームとなって取り組む「丹波篠山市在宅医療・介護ガイドブック」を作成しています。このガイドブックは医療機関と介護サービス事業所、居宅介護支援事業所等に配布されています。

わたしたち地域包括支援センターは、このガイドブックを活用しながら、市民の皆さんが住み慣れた地域で暮らし続けられるように在宅医療・介護連携に取り組みます。



社会福祉法人 丹波篠山市社会福祉協議会

丹波篠山市東部地域包括支援センター（担当地区：篠山・城東・多紀）

〒669-2441 丹波篠山市日置385番地1（城東公民館内）

TEL 556-2340 FAX 556-2351

丹波篠山市西部地域包括支援センター（担当地区：西紀・丹南・今田）

〒669-2205 丹波篠山市網掛301番地（丹南健康福祉センター内）

TEL 594-3776 FAX 590-1557



こんな相談がありました



Q. 地域の方からの相談。近くに住む一人暮らしの人の家に救急車が来ていた。入院とはならずには帰ってきておられるみたいだが、様子がわからず、高齢なので心配している。家族がたまに帰ってこられているみたいだが、ほとんど付き合いがないので聞くこともできない。前から気になっていたので何か協力できる事があればと思うが、どうしたら良いでしょうか。

A. 離れて住んでおられる家族の連絡先は地域の方がご存知だったため、包括へ相談する事を提案していただくようお願いしました。その後、息子さんから包括へ相談があり、体調や火の元の事などを心配され、施設入所も視野に動いておられる事がわかりました。了解を得て家族も今後の事を考えておられる事を地域の方に伝えました。家族には日頃から地域とのつながりを大切にもらうよう提案しました。

今月の耳寄り情報

ふれあい館をご存じですか？

ふれあい館は、社会福祉法に基づく社会福祉施設として位置づけられています。福祉の向上や住民交流の拠点となる「開かれたコミュニティセンター」として各種相談事業や人権課題解決に向けた地域交流事業を開催されています。

コロナ禍の中でも、感染防止対策を実施しながら地域の集い場作りとしてサロンなど様々な事業を開催し、地域の高齢者等の様々な相談にも対応されています。

必要時は支援機関に繋ぐなど見守り活動も担っておられ、地域包括支援センターが開催する個別地域ケア会議にも地域の見守り関係機関として参加をお願いすることもあります。

コロナ禍だからこそ顔の見える関係づくりとして、ふれあい館を訪ねてみられてはいかがでしょうか。

【問い合わせ先】

丹波篠山市役所人権推進課 079-552-6926

★今月の認知症カフェだより★

	と き	と ころ	内 容	問 い 合 わ せ 先
ホッと・ひといき カ フ ェ	2月14日(月) 3月14日(月) (第2月曜日) 13:30~	城下まち会館	 <p>認知症介護で悩んでいる人や認知症に関心がある人が気軽に立ち寄れるスペース</p>	丹波篠山市役所 長寿福祉課 高齢支援係 TEL552-5346 東部地域包括支援センター TEL556-2340 西部地域包括支援センター TEL594-3776
たきたきカフェ	2月16日(水) 3月16日(水) (第3水曜日) 10:00~	旧保健センター (東雲診療所隣)		
りんごカフェ	2月9日(水) 3月9日(水) (第2水曜日) 14:00~	西紀老人福祉センター		
カフェやすらぎ	2月10日(木) 3月10日(木) (第2木曜日) 13:30~	やすらぎ古市館		
かやのみカフェ	3月27日(日) (奇数月第4日曜日) 10:00~	中立舎		

※新型コロナウイルスの状況に応じて開催の有無や時間短縮を判断することもあります。